



Infomation_2



東いわつき動物病院調べ

眼のおはなし

眼は、体の中で“見る”ための唯一の器官です。ケガや病気を放っておくと最悪の場合失明に至ることも。日頃から異常がないかよく見てあげましょう！



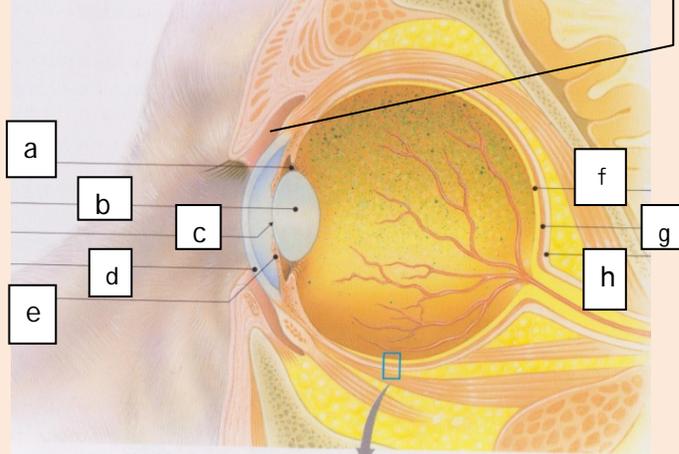
眼のしくみ

まずは眼のしくみを見てみましょう

白目と上下まぶたの裏側は透明な膜で覆われている（＝結膜）

- a.毛様体（もうようたい）
- b.水晶体（すいしょうたい）
- c.瞳孔（どうこう）
- d.角膜（かくまく）
- e.虹彩（こうさい）
- f.網膜（もうまく）
- g.脈絡膜（みゃくらくまく）
- h.強膜（きょうまく）

黒目



イラストでみる犬学 p.53 より

眼の組織一つ一つが、ものを見るために重要な役割を果たしています



かかりやすい眼の病気

第1位 結膜炎

原因：異物が眼に入る、細菌やウイルス感染、薬物による刺激など。全身疾患の一症状として起こる場合も。
 治療：原因を除去し、点眼薬や眼軟膏などを使います。
 眼を掻かないように、カラーを着けることもあります。

第2位 角膜損傷

原因：ケンカによる外傷や異物の混入、逆さまつげなど。
 進行すると、角膜炎や角膜潰瘍に進展します。
 治療：原因を除去し、角膜の保護・再生を促す点眼薬を使います。
 結膜炎同様、眼を掻く場合はカラーを着けます。

第3位 白内障

原因：レンズの役割をしている水晶体が濁るため。加齢によるものがほとんどですが、他に炎症や外傷、糖尿病などでも発症します。5～6歳以前の若齢性白内障は遺伝的要因が考えられます。
 治療：進行を遅らせる目薬はありますが、治療によって元に戻すことはできません。

スタッフより



今月はバレンタインデーがありますね。2月はチョコレートの誤食事故が一番多い時。みなさま、気をつけてくださいね。

